

第6学年 「社会+算数+総合」学習指導案

日時 2月7日(木) 2校時

場所 6年教室

指導者 安田 祥子

研究主題 豊かな人間性と確かな学びの相乗効果に関する研究
～思いを伝え合うことができる子どもをめざして～(2年次)

1 単元名 私たち地球人 ～世界が平和であるために～

2 単元設定について

児童一人ひとりが、周囲の人や社会とうまくかかわりながら自分の力で主体的に生きていくことができる力を育てたいと考え、このことを常に意識して教育活動を行うように努めてきた。

学級づくりの大きな目標は、「Peace Making」。未来に向けて平和で安心してらせる社会を創っていくことができる児童を育てていくためには、まず、児童にとって一番身近な「社会」である学級をそのような場所にしていくことが必要だと考え、人間関係づくりのプログラムである AFPY の教育手法を積極的に取り入れてきた。その結果、しだいに、児童は日常生活での様々な対立を、感情や力ではなく冷静に言葉によって解決しようとするようになり、学級は、争いのほとんどない和やかな雰囲気になってきた。このような児童への「平和とはどういうことだと思いますか?」という質問に対しての回答は、けっして特別なものではなく、争いがなく安心してらせることや、衣食住が満たされているというような日常的なことがほとんどであった。

また、全校で取り組む行事の多かった2学期からは、他学年のことを気にかけてアドバイスをしたり、学校での諸問題も全校の話し合いで解決しようとしたりするようになり、しだいに視野も広がってきた。しかし、それはまだ児童の見える範囲であり、日々、不自由なく生活している児童は、それ以外の諸問題については、例え知識があっても、切実な問題としてとらえていないようである。「世界は平和だと思いますか」という問いに対して、「平和ではない」と答えた児童が大多数を占めるが、実際には、今の自分自身とその周りが平和であることに満足しているようである。

現在、それぞれの国がたくさんの問題に直面している。しかし、国々が相互に依存し合い、影響を及ぼし合っている今、それらの問題は、世界全体としてのかかわりの中でとらえるのであれば、正しく理解することも、解決することも難しいであろう。未来を創り出していく児童に、「平和な社会の中で安心してらせるようにするためには、世界的視野に立って様々な事象をとらえ、主体的で責任ある生き方をしてほしい」と願い、本単元を構成した。

「主体的で責任ある生き方」をしていくためには、そのような「心」が大切であるが、同時に、知識や技能も身につける必要がある。そうでなければ、自分の価値観だけに基づいて物事を判断してしまいがちであり、誤った結論に達しやすいうように思われる。この学習を通して、これまでの学習で身につけた知識や技能を総合的に生かすことの有効性を感じとり、「学ぶこと」の大切さも実感してほしい。さらに、日々の人と人とのかかわりを通して学んだ「平和」に対する思いを基盤にして、地球上の諸問題に目を向け、世界に視野を広げていけるようにしていきたい。そして、不安の多い未来に対して、悲観的にならず、自分にできることを見つけ、世界に貢献しようという夢をもって生きるようになってほしいと願っている。

そこで、指導にあたっては、以下の点に留意したい。

- ・ まだ切実感のない課題をできるだけ自分の課題としてとらえ主体的に学ぶことができるようにするために、体験的な活動や現実を知るための調査活動を取り入れ、教師は児童が自ら学びとっていけるようにファシリテーター(改革推進者)としてかかわっていききたい。

【課題を解決する力】【生きてはたらく力】

- ・ 「単位あたりの量」「比」などの算数科での既習内容を活用して、収集した情報の中の様々なデータを「世界の数値」から「自分たちの数値」に換算していくことにより、世界の諸問題について調べたことが、身近な課題としてイメージができるようにしたい。

【基礎学力】【学びの総合化】

- ・ 自分の学びを全体へ広げ、そこでの学び合いで自分自身の考え方を深め、その自分がまた全体の中でより高まっていくことができるように、話し合い活動を積極的に取り入れていきたい。

【伝え合い】【深化】

3 単元目標

- 世界の中の一人という広い視野に立って、情報を取捨選択しながら現代社会への理解を深め、主体的に生きていこうとする力を育てる。
- 人々が支え合い、相互依存し合って成り立っている世界の中の一人であることを自覚し、平和な世界を築くために、自分にできることを創造しながら考え続けていこうという気持ちをもつことができるようにする。

<社会科>

- ・平和な国際社会の実現を目指して、世界の国の人々と共に生きていくことの大切さを自覚できるようにする。
- ・情報を効果的に活用し、社会的事象を広い視野から考えることができるようにする。

<算数科>

- ・学習内容を実生活の事象に結びつけて活用することにより、既習事項の定着を図ると共に、算数の有用性を実感できるようにする。

<総合的な学習>

- ・社会の一員として国際社会の課題を自分の課題として受け止め、それについて情報収集したり、討論したりすることにより、世界を平和にするために自分に何ができるかを考えたり、伝え合ったりできるようにする。

4 単元の評価規準

<社会科>

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
地球規模の問題（平和問題、環境問題、等）に関心をもち、意欲的に調べようとする。	地球上の諸問題について、自分の調べたことから国際社会における課題を見いだし、世界を見直すことができる。	自分の調べる目的に応じて資料を収集し、それをわかりやすくまとめ、伝えることができる。	地球上には、解決しなければならない諸問題があることを知り、世界の人と共に生きていくためには何が大切なのかを、自分なりに理解することができる。

<算数科>

関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解
数量の基礎的・基本的な知識・技能を、進んで活用し、その有用性を実感する。	数理的な考え方やアイデアを発展的に適用することができる。	既習事項（主に「平均」「単位あたりの量」「比例」「割合」）を生かして、情報を適切に処理することができる。	既習事項の活用できる場面を理解し、それを深めることができる。

<総合的な学習>

課題設定の能力	問題解決の能力	学び方	主体的・創造的な態度	生き方を考える力
国際社会における課題を自分のこととして受け止めることができる。	自分の課題を解決するために必要な情報を集めることができる。	インターネットや本などを活用して、情報を集め、まとめることができる。自分の考えを伝え合い、深めることができる。	自分の主張を説得力のあるものにするために、情報の整理や話し方の工夫ができる。	他者と意見交換をしていく中で、自分なりの考えをもち、主体的に社会にかかわっていきこうとする気持ちをもつことができる。

5 指導計画 (全15時間)

<算数科との関連>

- ならして考えよう
「平均とその利用」
・資料の特徴を平均でとらえる
- くらべ方を考えよう
「単位量あたりの大きさ」
・単位量あたりの考え方
- 2つの数で割合を表そう
「比とその利用」
・等しい比



<社会科との関連>

- 世界の中の日本
「日本と関係の深い国々」
①生活の中の世界を探そう
②自分が選んだ国について調べよう
③調べた国について発表しよう

- 世界の中の日本
「世界の平和と日本の役割」
①世界で活躍する人々を招いて

私たち地球人
～世界が平和であるために～
「世界の現実を知ろう I」(1)
○どう思う？
○平和であるために
・今の自分に何が出来る？
・将来、何をしたい？

私たち地球人
～世界が平和であるために～
「世界の現実を知ろう II」(2)
○‘世界がもし 100 人の村 だったら’に描かれている世界を体験的に学ぼう！

<社会+総合>

私たち地球人～世界が平和であるために～
「平和って何だろう？ I」(5)
○平和な世界にするためには、何が大切？
・自分の考えを主張するために、情報を収集しよう！

- 世界の中の日本
「世界の平和と日本の役割」
②課題別に調べよう
・地球上の諸問題

<算数+社会+総合>

私たち地球人～世界が平和であるために～
「平和って何だろう？ II」
○自分の考えをみんなに納得してもらえるように、情報を整理しよう！ (5)
○情報を整理しよう
・身近に感じることで出来る数値に換算しよう (既習事項を利用して)
・身近な課題としてイメージできるように
「世界の数値」を「私たちの数値」へ

○平和な世界にするために 何が大切なのかを話し合おう。(1)・・・本時
○整理した情報を、筋道立てて説明しよう！
・整理した資料を基に、自分の考えを主張し合おう。
・意見交換をしながら、自分の考えを深めよう。

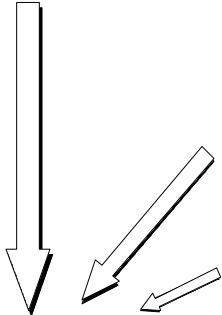
- 世界の中の日本
「世界の平和と日本の役割」
②課題別に調べよう < I >
・地球上の諸問題

- 世界の中の日本
「世界の平和と日本の役割」
②発表しよう < I >
・地球上の諸問題

- 世界の中の日本
「世界の平和と日本の役割」
②課題別に調べ発表しよう < II >
・世界で活躍する人々
・日本の役割

- 世界の中の日本
「世界の平和と日本の役割」
④これからの世界、これからの日本。

私たち地球人
～世界が平和であるために～
「未来を創ろう」(1)
○望ましい未来は？
○世界が平和であるために
・今の自分に何が出来る？
・将来、何をしたい？



6 本時案 (14 / 15)

- (1) 主眼 ○各自が収集・整理した情報を基にして、自分の考えを主張し合ったり、意見を交換し合ったりすることにより、「平和な世界にするためには何が大切なのか」について、自分なりの考えをもつことができる。
- (2) 準備 資料 (各自)
- (3) 展開

前時までの学習

- ☆「平和な世界を実現するために、選挙で代表を選ぶことになった。候補者の意見を読んで、だれを選んだらよいかを考え、この中から選んでください。」
- ①一人ひとりが「平和のためにはたらく人々」のパンフレットに書かれている候補者の主張を読んで、自分の推薦したい人を二人決める。
- ②その人が選ばれるように、その人の主張していることに関する情報を集める。
- ③情報から切実感を感じるられるように、統計の数字は身近で簡単なものに置き換えよう。

学習活動・学習内容	予想される児童の意識の流れ・反応	教師の働きかけと評価
<p>1 本時の討論のテーマを確認する。</p>	<p>・自分の推薦した候補者が選ばれるように、がんばろう！</p>	
<p>平和な世界にするためには、どの代表を選んだよいだろう。</p>		
<p>2 討論会をし、どの代表を選んだらよいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の推薦した候補者のよさを主張情報の提示 説得力のある話し方 ・他の主張との比較 ・「主張すること」と「他の考えを受け入れること」 	<p>【主張するとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この情報をみんなに伝えたら、きっとびっくりするだろう。 ・これなら、情報の中の数の大きさがイメージができるかな？ 〈例〉世界がもし装港の町だったら運動場に例えると… 1時間の授業の間に…、等 <p>【聞くとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そんなことが起こっているとは、知らなかったなあ ・これは、人ごとではないぞ <p>【話し合うとき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分と友だちの主張、どっちがいいんだろう ・友だちの言うこともわかるけど、自分の方がもっと大事では？ ・他にこんな候補者がいたらいいのになあ 	<p>○教師は、可能な限り児童の自由な討論会になるように、会の促進をする。</p> <p>○必要に応じて、児童の主張の仕方についてのアドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の言いたいことが、明確であるか。 ・集めた情報が有効に活かされているか。 ・感情的になっていないか、等 <p>評 収集した情報を効果的に利用し、自分の考えを明確にして主張しているか。 (主張、話し合い)</p>
<p>3 「平和とは何か」ということについて考え、意見交換をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての主張に共通すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票して、代表者を選ぼう ・「平和」って争いがなく安心してらせること 	<p>○当選者を上位3名とする。</p> <p>○それぞれの主張の共通点を探り、「平和とは何か」を考える手がかりにする。</p>
<p>4 平和な世界にするためには何が大切なのかを考え、みんなで伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけではなく、世界中のみんなが平和にくらせるようにすること ・自分にできることを見つけてすることも大切 ・世界の様子を知ること 	<p>○まず、自分の考えをプリントに書き、それを伝え合うことにより、いろいろな価値観があることに気づくことができるようにする。</p> <p>評 世界の平和を自分の課題としてとらえ、自分なりの考えをもつことができたか。 (プリント、発表)</p>